

第 2 5 回奈良市子ども・子育て会議 会議録			
開催日時	令和元年 7 月 1 0 日（水）午前 1 0 時から正午まで		
開催場所	奈良市役所 北棟 6 階 第 2 2 会議室		
出席者	委員	大方会長、浜田副会長、岡田委員、山下委員、金野委員、亀本委員、梶田委員、高尾委員、國原委員、篠田委員、須川委員 <b>【計 1 1 人出席】</b>	
	事務局	<b>【子ども未来部】</b> 真銅子ども未来部長、小澤子ども未来部次長、玉置子ども政策課長、大前保育総務課長、米田保育所・幼稚園課長、池田子ども育成課長、野儀子育て相談課長 <b>【保健所】</b> 槇田母子保健課長 <b>【教育委員会事務局】</b> 新田教育政策課長補佐 <b>【学校教育部】</b> 川端地域教育課長補佐	
開催形態	公開（傍聴人 3 名）	担当課	子ども未来部子ども政策課
議題 又は 案件	1 案件 （1）会長及び副会長選出 （2）各部会委員の指名 （3）認可保育所の新設について （4）「奈良市子どもにやさしいまちづくりプラン」の進捗状況について て （5）第二期奈良市子ども・子育て支援事業計画について		
決定又は取り 纏め事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会長及び副会長並びに各部会員が指名された。</li> <li>・認可保育所の新設について原案通り承認された。</li> <li>・「奈良市子どもにやさしいまちづくりプラン」の進捗状況について原案通り承認された。</li> <li>・第二期奈良市子ども・子育て支援事業計画骨子（案）について原案通り承認された。</li> </ul>		
<b>議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等</b>			
1 審議事項 （1）会長及び副会長選出 <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局から、会長及び副会長選出について、説明を行った。</li> <li>大方会長、浜田副会長に決定</li> <li>&lt;特に意見なし&gt;</li> </ul>			

(2) 各部会委員の指名

- ・事務局から、各部会委員の指名について、説明を行った。

以下のとおり決定

子ども条例部会：岡田委員、金野委員、栗本委員、篠田委員、須川委員、浜田委員

教育・保育部会：大方委員、梶田委員、亀本委員、國原委員、高尾委員、山下委員、  
横山委員

<特に意見なし>

(3) 認可保育所の新設について

- ・事務局から、認可保育所の新設について、説明を行った。

<特に意見なし>

(4) 「奈良市子どもにやさしいまちづくりプラン」の進捗状況について

- ・事務局から、「奈良市子どもにやさしいまちづくりプラン」の進捗状況について、説明を行った。

- ・岡田委員 意見等に対する対応状況に、「実施していきたい、検討していきたい」という回答がなされていますが、実際の意見が反映された結果なのか、それとも十分に反映できなかった結果なのかがわかりにくいので、もう少し応答性があるといいと思います。

- ・金野委員 前年度と同じ文章を掲載している課もありましたので、各年度の取組の違いがわかるような記載をお願いしなければならぬと思いました。

- ・篠田委員 事業評価シートで意見の出ていない項目については、委員のどなたかにお願いをして意見をいただくのもよいのではないかと思います。また、肯定的な評価もすべきだと思います。

- ・國原委員 保育士不足の状況の中で、補助金で何ができるか考えながら保育士確保に力を入れることなど、子どもを支えるまちづくりはどうなっていけばいいのかを考えていきたいと思います。

- ・山下委員 ニーズ調査の中の「子育てしやすいまちか」という質問で0～2歳があまり思わないと評価をしているので、保護者の方の評価が伴わないのはなぜなのか考えていかなければならないと思います。

(5) 第二期奈良市子ども・子育て支援事業計画について

- ・事務局から、第二期奈良市子ども・子育て支援事業計画について説明を行った。
- ・亀本委員 保護者同士の交流の機会を増やすなど、保護者の孤立を防いで子育てしやすいようにしていくことを課題としてあげていただいたのには大きな意義があると思います。また、今一番危惧しているのが幼児教育の無償化です。どうやって保育士の質を担保しているのかというのは非常に大事な問題だと思います。また、給食代に関して国で提起されている基準がありますが、人によっては逆に給食代で負担が増えるのではないかという懸念もあります。また、これによって保育士の業務量が増え保育士不足にも拍車がかかってしまうのではないかと思います。食材費の徴収を業務委託するなど、現場の負担を軽減していただけるようご検討いただきたいです。
- ・國原委員 給食代が保護者の負担となってしまう、園の選択に影響が出てしまうので、子どものために検討していただいて一緒に解決していけたらと思います。
- ・浜田委員 子どもから若者までの切れ目ない支援を考えた時にもう少しハイティーンや20歳前後の若者の支援も含めて考えていければと思います。10歳～14歳の死亡原因の1位が自死になったことなど、そういう子どもたちが生きにくい状況がありますので、20歳前後の若者も含めた支援を計画していくべきだと思います。また、保護者の就業率が増えていくことを想定した計画にすることが必要であると思います。

資 料	<p>【資料1】：奈良市子ども・子育て会議委員名簿(2019.7.10以降)</p> <p>【資料2】：奈良市子ども・子育て会議について (スケジュール)</p> <p>【資料3】：教育・保育部会設置要領</p> <p>【資料4】：子ども条例部会設置要領</p> <p>【資料5】：認可保育所の新設について</p> <p>【資料6】：「奈良市子どもにやさしいまちづくりプラン」の進捗状況について</p> <p>【資料7】：第二期奈良市子ども・子育て支援事業計画骨子 (案)</p>
-----	--